

大阪市社会福祉研修・情報センターの取組等について

【福祉従事者向け研修】

平成28年12月1日現在

研修名		内容(おおよそ)	実施 回数 (日数)	定員	実施 日程 (年・月・日)	費用 (円)
キャリアパス 対応生 涯研修課	初任者コース	チームの一員としての基本を習得し、福祉職員としてのキャリアアップの方向を示唆する	1回 (3日間)	60	8月9日 9月5、6日	9,000 +テキスト代
	中堅職員コース	中堅職員としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する	1回 (3日間)	50	7月14日 8月2、4日	9,000 +テキスト代
	チームリーダーコース	チームリーダー等の役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する	1回 (3日間)	50	8月23、30日 9月13日	9,000 +テキスト代
	管理職員コース	管理者としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する	1回 (2日間)	30	11月18、25日	8,000 +テキスト代
福祉サービスの倫理と基本理念「福祉の基本と対人援助」		福祉従事者に求められる基本視点、知識を学ぶことにより専門職としての役割行動を理解し、利用者へのサービス向上を図る	1回 (2日間)	40	5月14日 6月11日	6,000
セルフメンタルヘルズ・研修	【メンタルヘルズ研修】 一般職員対象	メンタル不全のメカニズムを理解し、良好な人間関係を保持しながら業務を遂行する知識や技術を学び、バーンアウト(燃え尽き症候群)を防ぐ	1回 (1日間)	50	7月13日	1,500
	【メンタルヘルズ研修】 主任・リーダー職員対象	職場の要である主任・リーダー職員として、ストレスマネジメントを学び、自身のメンタルヘルズだけでなく、部下へのメンタルサポートの知識と技術を習得し、良質なサービスを提供できるチームづくりを目指す	1回 (2日間)	50	9月14日 9月15日	6,000
	【メンタルヘルズ研修】 管理職員対象	管理職としてバーンアウト(燃え尽き症候群)や離職者を減らす対策を考え、より良い福祉サービスが提供できる組織とそのための労働環境を作るポイントについて学ぶ	1回 (1日間)	50	1月17日	3,000
	【セルフマネジメント研修】 福祉・介護職員のための臨床動作法	からだを動かして肩こりや腰痛、その他の緊張との向き合い方とそれを緩和する臨床動作法を学ぶ	1回 (1日間)	50	6月23日	1,500
リスクマネジメント研修	一般職員対象	リスクマネジメントとは何かを学び、リスクを生みださない考え方や記録の書き方、コンプライアンス(法令遵守)など具体に気をつける点について学ぶ	1回 (1日間)	50	9月23日	3,000
	主任・リーダー職員対象	リスクマネジメントやコンプライアンス(法令遵守)への気づきから、リスクを生まない環境づくりを学ぶ	1回 (1日間)	50	10月11日	3,000
	管理職員対象	管理職として組織内のリスクマネジメント、コンプライアンス(法令遵守)に関する制度の運用と推進、対策を考え、より良い組織づくりと環境を作るポイントについて学ぶ	1回 (1日間)	50	12月6日	3,000
	クレーム対応技術	事業者と利用者の信頼関係を構築するため、苦情対応の知識と技術を身に付け、適切に解決していく方法を習得する	1回 (1日間)	50	11月24日	3,000
組織運営・管理研修	労務管理研修	労働関係法令を正しく理解し、多様な雇用形態における社会保険・労働保険等の労務手続きについて学ぶ	1回 (2日間)	50	7月6日、22日	6,000
	財務管理研修	社会福祉法人新会計基準に基づく財務管理について学ぶ	1回 (1日間)	50	10月6日	3,000
	職場研修推進研修(新)	各法人・施設が、より良いサービスを提供するために職員の資質向上をめざす	1回 (1日間)	30	2月24日	1500 +テキスト代
	OJT推進研修	職場研修の中で最も重要なOJTについて、より推進を図る知識・技術の向上を図る	1回 (2日間)	45	2月24日 3月3日	8000 +テキスト代
	電話応対・接遇マナー	職場のイメージは、電話応対と接遇の良しあしに大きく左右されるため、電話や窓口業務に携わる人を対象に好感をもたれる応対をロールプレイを交えて学ぶ	1回 (1日間)	60	4月22日	3,000
	相談面接の技術	援助関係の本質を知り、面接の技術を磨き、対人援助活動をよりスムーズに行うために、的確で好感をもたれるスキルを演習を交えて実践的に学ぶ	3回 (3日間)	各36	7月6日・ 12日・19日	3,000
	コミュニケーション	利用者や職場の同僚・上司との関わり方、家族との関係など人との付き合い方の効果的な方法・技術を楽しむ身につける	1回 (1日間)	40	6月17日	3,000
	ファシリテーション	意見が出ない、論点がずれる、いつも同じ人ばかりが発言する、何も決まらず時間だけ費やす、そんな会議の仕方を変え、場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を学ぶ	1回 (1日間)	40	5月17日	3,000
	プレゼンテーション	プレゼンテーションの基礎を実践的に学ぶ	1回 (1日間)	30	11月22日	3,000
地域課題の 解決に向けて	地域を基盤としたソーシャルワーク研修	地域支援機能と個別支援機能の強み・弱みの双方を理解し、両機能を連携させた、地域を基盤としたソーシャルワークの理念を学ぶ	1回 (2日間)	50	9月1日、 12月1日	3,000
	コミュニティソーシャルワーク実践講座	地域を基盤としたソーシャルワークを実践するため、地域支援機能と個別支援機能の強み・弱みの双方を理解し、地域福祉の理念とコミュニティワーク事例検討から、その具体的方法論を学ぶ	1回 (5日間)	30	9月1日～ 12月1日	7,500
	社会福祉施設職員の地域福祉実践講座	社会福祉従事者が、地域の中で暮らす人の自立生活を支援するため、地域住民との協働を、福祉施設職員として、いかに実践していくのかの具体的手法を学ぶ	1回 (5日間)	15	8月31日、9月16、23日 2月9、21日	15,000

研修名		内容(わらい)	実施 回数 (日数)	定員	実施 時期 (予定)	受講料 (円)
障がい福祉関係研修	障がい福祉関係研修	障がい児・者を取り巻く課題や現状とともに、支援のあり方について学ぶ	5回	-	2月～3月	1,500
	発達障がいの理解と対応	発達障がいについて正しく理解し、支援の視点を学ぶ	1回 (1日間)	40	1月11日	3,000
	パーソナリティ障がいの理解と対応	病気への正しい知識を得て、本人への対応の仕方を見直し、適切な支援の方法を身につける	1回 (1日間)	40	1月20日	1,500
	精神障がいのある人と家族への支援実践講座	高齢者支援をする福祉従事者が、精神障がいのある人と家族を支援するため基本的な視点や支援方法について学び、実践力の向上を図る。講座修了者は、事例検討も受講可能	1回(2日間)、別途事例検討(3日間)	24	2月1日～3月9日	講座 8,000、 事例検討 3,000
高齢福祉関係研修	医療知識① 「高齢者ケアに必要な医療知識」	高齢者介護に必要な医療知識を学び、介護の質的向上を図る	1回 (1日間)	50	11月10日	1,500
	医療知識② 「感染症について-知識と予防-」		1回 (1日間)	50	12月21日	1,500
	デイでのリハビリ	29年4月までに「総合事業」(介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業)が開始され、訪問介護、通所介護は29年度末に総合事業のサービスにすべて移行される知識を習得する	1回 (1日間)	50	10月18日	1,500
認知症介護研修	基礎研修	認知症介護に携わる者が、その業務を遂行する上で基礎的な知識・技術とそれを実践する際の考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基礎的なサービス提供を行うことができるようにする	3回 (3日間)	100	6月14日 9月7日 11月8日	4,000
	認知症介護実践者研修	認知症の原因となる疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する	6回 (各6日間)	各72	8月～2月	30,000+ テキスト代
	認知症介護実践リーダー研修	認知症介護の理念を、自職場において展開し、実践リーダーとして職員を支援・指導し、地域のネットワーク作りの視点をもって認知症介護の推進役となるリーダーを養成する	1回(講座 9日間、実習3日間)	30	6月～9月	42,000+ テキスト代
	認知症介護実践リーダー研修修了者フォローアップ研修	リーダー研修修了者に対して、知識やスキルを高めるための専門的なフォローアップを行うことにより、大阪市全体の認知症ケア対応力の向上を目指す	2回 (2日間)	各50	10月2月	1,000
	地域密着型サービス認知症介護研修	認知症介護を提供する地域密着型サービス事業所の開設者、管理者、及び計画作成担当者がそれぞれ必要な知識・技術を身につけることにより、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る	3コース ×2回	各90	10月、 2月1・16日 3月1・7日	5,500
介護職員研修	介護職援助の基本編 「利用者の尊厳を尊ぶ」	利用者の思いに寄り添うことの重要性についてグループワークを交えた演習により実践的に学び、介護職員としての情報交換も行います。	1回 (1日間)	60	12月2日	1,500
	介護職援助の基本編 「悲嘆に寄り添う」	悲嘆・喪失感の経験をした人へ寄り添うことの意義について考え、利用者だけでなくその家族をどのようにとらえ、どう支援していくかについて学ぶ	1回 (1日間)	60	2月	1,500
	介護職援助の技術編 「初任者向け介護技術」	介護職員経験3年未満の職員を対象に、介護に関する基本技術を学ぶ	1回 (3日間)	20	6月26・28日、7月3日	9,000
	介護職援助の技術編 「ステップアップ介護技術」	介護職員経験3年以上の中堅職員等を対象に、移動、排せつ、食事の介護に関する技術の応用を学ぶ	3回 (各1日間)	20	1月26・27・30日	3,000
	介護職援助の技術編 「アクティビティ」	介護職員に求められる援助技術の基本を学び、レクリエーション技術を含むアクティビティを通じた、QOLの向上方法を学ぶ	1回 (1日間)	40	9月9日	3,000
	介護サービス主任・リーダー研修 訪問介護サービス責任者研修	介護保険制度の現状を理解するとともに、それぞれの役割や倫理、スタッフを支える視点等について学び、事例検討を通じ、支援の力量を高める	1回 (2日間)	50	2月	6,000
	介護サービス主任・リーダー研修 介護主任リーダー研修		1回 (2日間)	50	2月	6,000
	介護職員実務者研修通信課程(新)	全国社会福祉協議会の通信課程のスクーリングを実施協力し、介護福祉士の養成・確保を図る	面接授業・演習の2コース	各コース36人	7月～9月	コースによって異なる
社会福祉施設職員人権研修		社会福祉施設の職員として人権問題を正しく理解し、人権意識の向上を図る	4回 (4日間)	各100	8月～2月	無料
福祉人材養成連絡協議会会員提供講座		福祉人材養成連絡協議会の会員による提供講座	1回 (1日間)	60	2月2日	無料
地域福祉推進者研修	地域福祉活動者講座 入門編	地域福祉の推進に必要な知識等の基礎を学ぶ	1回 (4日間)	50	2月	資料代
	地域福祉活動者講座 実践編	地域福祉の推進に必要な実践法の基礎を学ぶ	1回 (4日間)	50	2月	資料代
	地域福祉推進リーダー養成塾	福祉コミュニティづくりにおけるネットワークの構築とその運営方法を学び、地域福祉を推進する人材を養成することを目的とする	1回 (5日間)	30	3月	2,000

研修名	内容(わらひ)	実施回数(日数)	定員	実施時期(予定)	受講料(予定)
福祉支援人材確保	潜在的有資格者復職支援研修	介護職員・保育士として求められる理念や基礎知識の再確認、介護現場の最新状況等を学び、復職(就職)につながる研修を実施する	1回(1日間)	20	未定
	求人力・広報力向上研修(新)	福祉への就職を希望する人材に対して、効果的な求人情報の提供や発信の方法について学ぶ	1回(1日間)	40	2月2日
	福祉人材受入・定着支援研修(新)	新たに入職した新任スタッフがスムーズに業務に就き、サービス提供できるよう、職場や事業所としての支援策を学ぶ	1回(1日間)	40	2月2日

【市民向け講座】

講座名		内容(わらひ)	実施回数 (日数)	定員	実施時期 (予定)	受講料 (予定)
社会福祉講演会・国際セミナー		社会福祉の動向や福祉実践等をテーマとし、市民啓発及び福祉関係職員の資質向上に寄与することを目的とする	3回 (各1日間)	各80	4月27日 6月10日 6月22日	無料
社会福祉史の市民講座		社会問題や生活課題の解決に先駆的に取り組んだ大阪の社会事業家の生き様、実践、開拓精神を学び、これからの大阪らしい社会福祉の推進を目指す	3回 (各1日間)	各20	2月3日 2月17日	無料
市民のための認知症介護講演会		認知症に関する医療的な知識及びケアについて学ぶ	1回 (1日間)	80	11月6日	無料
介護実習講座	入門コース	介護を初めて行う方に、介護への認識・興味を深めてもらうため、基本となる簡単な介護を体験する	8回 (各3日間)	各20	4月 ～2月	500
	ステップアップ(応用) テーマ別コース	介護技術・知識の復習や向上をめざしてテーマごとに学習する(テーマ:移動、排泄、食事介助、衣服・シーツ交換、応急手当、口腔ケア等)	4回(各5 テーマ)	各20	5・8月 12・2月	100
	介護者のための調理講座	介護者のために短時間で、簡単にできる調理法や介護食について調理実習を行いながら学ぶ	3回 (各2日間)	各14	8月 11月 2月	1,000
	おさらい介護教室 「家庭でやさしい介護のコツ」教室	介護実習講座で学んだ内容を復習することで、介護技術や知識の向上を図る目的とする。「移動」「排泄」介助の基本を学ぶ	2回 (1日間)	各20	11月6日	無料
自助具製作体験講座		自助具への理解を深めるとともに、ものづくりの楽しさを体験する	2回 (1日間)	各8	11月6日	材料代 300円

福祉・介護専門職の キャリアアップをサポート!

福祉・介護 専門職必携

福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています。

(内容)

- A4判・リングファイル ● 人生カレンダー
- キャリアデザインシート(ワークシート編)2頁
- 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
- 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9頁
- ビニールファイル4枚

定価 600円(税込) 発行:2015年3月

発行者:大阪市福祉人材養成連絡協議会
大阪市社会福祉研修・情報センター
問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272
✉kerisyu@shakyo-osaka.jp

クーポン券がついています!

大阪市社会福祉研修・情報センターの主催研修の受講料が500円割引されるクーポンが、キャリアデザインノート1冊に1枚ついています

クーポン有効期限
平成28年4月1日～平成29年2月28日

持ち運び
しやすいA4判!
カバンにも
スッキリ入る!

これ1冊に
受講履歴を
ファイル。
修了書や資料が
散逸しません!



社会福祉研修・情報センター「福祉職員のメンタルヘルス相談事業」について

相談方法 電話または来所

相談日時 毎週土曜日、第1・3水曜日 午前9時30分～午後4時

相談員 臨床心理士

相談料 無料

相談者数 平成27年度 27名（来所相談40回、電話相談15回）

平成26年度 29名（来所相談22回、電話相談20回）

平成25年度 28名（来所相談24回、電話相談39回）

平成20年度より、社会福祉研修・情報センターでは福祉職員のメンタルヘルス相談を実施している。相談者としては、職歴10年以上の相談職・介護職・管理職からの相談が多い傾向にある。

相談内容としては、職場の人間関係（上司、同僚、利用者への対応）、仕事の取り組み方や今後のキャリア、家族関係等、いずれも対人面での困難さを感じている相談者が多い。



福祉職員のメンタルヘルス相談

まずは
お電話を

相談直通電話 (06) 4392-8639

毎週土曜日 第1・3水曜日 午前9時30分～午後4時

予約される方は、上記日時以外の午前9時30分～午後4時30分にお電話ください

お気軽にご相談ください。

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…など、
仕事上のストレスなどから生じる
悩みの相談窓口です。

※相談方法

電話または来所（まずは、お電話ください）
必要に応じてカウンセリングも行います。

※相談日時

毎週土曜日、第1・3水曜日
ただし、土曜日は祝日も実施（年末年始は休み）

※相談員 臨床心理士

※相談料 初期相談無料

※秘密厳守



こんなことはありませんか？

◎チェックしてみましょう

- ☐ いらいらしてだれかに当たってしまう
- ☐ なかなか疲れが取れない
- ☐ やる気がおきない
- ☐ 不安になったり心配になったりして
気持ちが安定しない
- ☐ 職場に行くのがつらい
- ☐ 気がつくと、職場の仲間の輪から外れている
- ☐ 職場の人間関係がうまくいかない
- ☐ 毎日の業務に追われて、心のゆとりがない
- ☐ 自分だけが頑張っていると思う
- ☐ だれも自分のことを理解してくれない
- ☐ 常に仕事のことが頭から離れない
- ☐ 仕事のミスが増えてきた
- ☐ この仕事に向いていないのではないかと思う
- ☐ 自分の仕事に自信がもてない
- ☐ もっと利用者やその家族と
良い関わりをしたいのにできない
- ☐ お酒、タバコの量が増えた

あなたはいくつ当てはまりましたか？
いちど相談してみませんか？

(参考)

《 大阪市福祉人材養成連絡協議会の概要 》

1 趣 旨

地域福祉を推進する福祉人材の養成は、重要な課題である。大阪市では平成 17 年 9 月、大阪市社会福祉審議会において「大阪市における福祉人材養成のあり方」の提言がまとめられた。この提言にそって福祉人材の養成を図るため、福祉人材養成に関わる機関・団体、事業者、専門職、社会福祉協議会等が参画する「大阪市福祉人材養成連絡協議会」が平成 18 年 11 月に結成された。

2 構成団体

大阪市、大阪市社会福祉協議会、大阪市社会事業施設協議会、大阪市立大学、大阪で活動する福祉専門職団体、大阪の福祉人材養成に関わりの深い教育機関、研修機関等が会員となって連絡協議会を構成している。

(会員)

会 長 大阪市立大学

副会長 大阪市社会事業施設協議会、大阪介護支援専門員協会

会 員 大阪社会福祉士会、大阪介護福祉士会、大阪医療ソーシャルワーカー協会、大阪精神保健福祉士協会、日本社会福祉士養成校協会（大阪）、日本介護福祉士養成施設協会（大阪）、大阪市福祉局、大阪市社会福祉協議会

3 事業内容

(1)福祉人材養成連絡協議会の設置・運営

(2)福祉人材養成推進事業

研修の体系化、研修情報の発信、事業者支援、研修履歴の認定等

【連絡協議会イメージ図】

